

社会福祉法人 黒松内つくし園 老人福祉施設

慶和園



夏本番！

第20回 慶和園

ふれあいのタベ

暑さ
コロナ

に負けるな！



8月3日、第20回目となる慶和園の夏祭り「ふれあいのタベ」を開催しています。事前に準備をすすめる中で、今年はご家族や来賓、地域のボランティアの皆さんをお招きし、2年ぶりの交流を楽しんでいたただくこととしていましたが、7月下旬より地域でのコロナウィルス感染症の影響が拡大。残念ながらご家族・来賓等地域の皆様の参加を見合わせることとなりました。交流規模の縮小は大変残念ではありました、「できる範囲で、できる限りのできること探し」の対応にてお祭り自体は開催を決定！ご利用者にはお祭りを存分に楽しんでいただけるよう工夫を凝らしました。今年の露店では抹茶ゼリー・芋羊羹・メロン・かぼちゃ団子・ゆできび・一口おやき・かき氷・ジュースを取り揃え、ゲームコーナーやカラオケなどの余興も準備、ご利用者と職員での笑顔の交流が叶いました。笑い声が会場に響き、余興終盤の盆踊りでは大盛況となりました。夜の部の花火大会もご利用者、職員が一緒になってと夏の風物詩と共に楽しむことができました。来年こそはご家族・地域との交流を、と願った次第です。



～ご利用者に訊く～ 私の歩みかた



ようていユニット 90歳
酒井 チ工 様
慶和園在住：6ヶ月

今年で90歳になる酒井チ工様は京極生まれ、京極育ち。学校卒業後に家業を継ぎ、28歳のときにご主人と結婚、1男2女をもうけ長年農業を営んでこられました。

今回ご自身の思い出話を伺うと、且那様への想いが募ります。「うちの爺さんは優しい人だった。町議もしていて、皆の人気者だったんだ。楽しかったな。」と、とても仲睦ましいご夫婦の様子を語っていただきました。慶和園ではユニットの畑をお手伝いいただき、トマトや枝豆の出来栄えを楽しみに毎日手をかけてくれています。「来年は、スイカも植えよう。わしが育ててみる！」と明るく前向きにお話しいただき、長年且那様と苦楽を共にした畠仕事が酒井様の元気の源の様子でした。この度はインタビューへのご協力、誠にありがとうございました。

『慶和園だより』NO.259 令和4年8月10日発行

〒044-0132 虹田郡京極町字更進780番地1

TEL(0136)42-2201 FAX(0136)42-2209

編集発行：老人福祉施設 慶和園 広報委員会

発行責任者：施設長 滝谷 剛

※「慶和園」だよりに掲載の個人情報は、ご本人もしくは、ご家族様の許可を得て使用させて頂いております。

◎今月の羊蹄山：職員互助会活動「札幌お花見ツアー」出発前の記念撮影です。こうして外国人スタッフとの交流も育んでいます。

慶和園の D&I

多様な価値観・働き方を紹介

飲食店店長から 介護の世界へ



皆さん、こんにちは。気付けば慶和園で働き始めて今年で3年目になる介護員 岩木 潤です。そんな自分が何故この世界に飛び込むことになったのかを少しお話させてもらいます。

僕には以前、1歳下に妹が居ました。もう会えなくなつたから

10年が経ちます。その妹は介護職に5年ほど従事していました。僕はと言えば、20代から飲食業の世界で働いていて、ダイニングバーなどで店長などをしていました。

自分の人生をふと思い返した時、親に不安を掛けながら自由に生きて来た自分が、「近い将来（20年くらい先でしょう）両親にできる事は何かないか。妹の短かった人生に少しでも寄り添えることはないのか。」という思いを抱き、慶和園職場説明会に参加したことがきっかけです。あれから3年、今現在はとても充実しています。

-慶和園運営方針-

・慶和園はひとつ。ご利用者・職員で慶(喜)びの和を大切にします。

－私たちちは、チームでご利用者の想いを実現させます－

・慶和園は一人ひとりを大切にします。

－私たちちは、自分以外の全ての人々に真心をもって親切丁寧に接します。

・慶和園は地域とのつながりを大切にします。

－私たちちは、地域における役割りを理解し信頼を得られる行動をとります。



慶和園「わたしたちの深化・進化」
～各ユニット 2022 年度・取組紹介～

養護ユニット「つながりを大切に！」

2022 年度の慶和園運営テーマは、「ご利用者のために深化宣言！」
～私たちも進化しよう！！～です。そこで、今年度の各ユニット・セクションにおける'しんか'の取組を紹介させていただきます。今月は「養護ユニット」からの紹介です。



養護老人ホーム慶和園では、現在 35 名の入居者が生活されています。普段は一人一人ご自分の時間で自由に生活されていますが、食事の準備の時には配膳や下膳、盛り付け等を職員と一緒に手伝ってくださる方もいます。また、毎朝のラジオ体操、週 2 回のリハビリ体操でのストレチなど率先して取り組む方、余暇時間のサークル活動に精を出す方もいらっしゃいます。養護ユニットでの行事の企画（買い物企画やドライブなど）もそうですが、あらゆる場面でご利用者の意向をお

聴きし、職員も一緒になって楽しませていただくことでご利用者・職員のつながりを更に深めていきたいと考えている、今年度であります。

地域の中の
「ご利用者の想いをかなえる」姿勢に学ぶ

ご利用者の A 様はおしゃれを楽しむ方で月に 1 度の美容室への外出は大切なイベントのひとつ。長年通い慣れた町内の美容室ですが、最近は足の運びが難しくなり、入口の階段が心配に。このままだと大好きな美容室に行けなくなるかも…。そんな不安を払拭するために、この度オーナーの加藤様（竹山美容室）が一肌脱いでくださいました。玄関にはスロープを設置、お店には車椅子の配備も。お陰様で A 様は笑顔で入店することができました。オーナーの心意気と行動力に大切な姿勢を学びました。



七夕飾りのプレゼント

京極中学校
ボランティア委員

7 月 20 日京極中学校ボランティア委員の皆様がご来園。全校生徒で作成したという七夕飾りのプレゼントがあり、地域交流ホールへの飾りつけをご利用者と一緒に



緒に行いました。飾られた短冊の中には、「早くコロナがなくなりますように」「皆さんのが健康でいられますように」「世界が平和でありますように」等の願いもあり、中学生の真っすぐな想いに、ご利用者の皆様も勇気づけられている様子でした。中学生の皆様、本当にありがとうございました。



～相手の心を想う～係長が考えたこと。

相手の心を想う…決して簡単に表現できる言葉ではありません。ただ、これまでの人生の中で一つだけ言える事があります。それは「ありがとう」と伝える力です。どんなに忙しくても、どんなに小さな事でも「ありがとう」と伝える力の大切さを学んできた。人は慣れる「ありがとう」という言葉を忘れる。コミュニケーションが苦手な人と接する時はついいつい言葉が不足したりする。相手の心を変えようとしても変わりません。自分の心を変えましょう。自然と「笑顔」が増えているような気がします。慶和園はそんな施設です。

係長 宇治 伸耶

【2022 年 8 月 10 日 ～ 9 月の行事予定】

【8月】 【9月】

- | | |
|------------------------------------|--------------------|
| 10 日 出張理容(サロンドシエル) | 7 日 地域合同防災訓練 |
| 11 日 お墓参り | 11 日 出張理容(菅原理髪店) |
| 22 日 出張理容(竹山美容院) | 12 日 出張理容(サロンドシエル) |
| 11・18・25 日 ちょこっと体操 | 16 日 敬老会 |
| ※園内だけでの開催。状況に応じて地 27 日 出張理容(竹山美容院) | |
| 域の皆様とも開催致します。 | |
| 17・24・31 日 番クラブ | 1・8・29 日 ちょこっと体操 ※ |
| | 7・14・21・28 日 番クラブ |